

第2回友好ゴルフコンペ

4月14日(水)川口会長のご好意で万壽ゴルフクラブにて、第2回友好ゴルフコンペを開催致しました。当初は、霧雨の中のプレーでしたがなんとか天候も回復し、楽しくプレーが出来ました。皆様とコロナ禍で中々集まる事も出来ない中の開催でしたが、総勢20人もお集まり頂き親睦を深める事が出来ました。会長からのお土産のいちご大福も凄く美味しかったです。ありがとうございました。



文責：森 圭司

成績結果 1位 中川博之会員
2位 日高会員
3位 荒山会員



上杉竜太郎 会員



私は大阪難波RCCの出会いは和太鼓部との縁から始まりまた、元々北橋会員は私の伯母と元川原羽咋市の同郷であり、弊社店舗もよく利用頂いていた繋がりから色々とお世話になっておりました。ある日、その伯母から地域の夏祭り、三味線、日本舞踊の演目紹介をするお手紙に上がるよう申し送り現地へ行っておりました。と云々、大阪難波RCCの和太鼓部の皆様が演奏に来られたのが出会いとなりました。そこで初めて、間近で皆様の迫力ある演奏を見聞き、興奮したことが今でも大変印象に残っております。その縁もあり北橋会員と谷口会員の紹介で、二〇一五年十一月、四十五歳の時に入会させて頂き、同時に和太鼓部にも入部させて頂きました。当時、ロータリーの事を何も知らずに入会した私にとって、和太鼓部の皆さんと懇意にさせて頂いた事は、非常に心強く、そして嬉しかった事を今でもよく覚えております。また、和太鼓を始めた事は私にとって、他にも大変喜ばしい事がございました。

実は社会人になり、当時すでに二十数年経っておりましたが、思い返してみればそれまでは、仕事に直接的に関係のない新たな事に取組む機会というものがあまり恵まれた事がなく、何か学ぶ機会があったとしても、それは仕事に直接的に必要であったり結びつく知識や経験を得るためのものばかりでございました。そんな中で、和太鼓という新しいものにチャレンジする機会を頂け、大変新鮮な気持ちで取り組む事が出来、仕事とは違う充実感そして満足感を得る事が出来ております。

今までの活動、最も思い出深かったのは、二〇一九年度のクリスマス



Vol. 51

「テーマ 大阪難波RCCにて嬉しかったこと」

世代を紡ぐ インタビュー

家族会での「水車」の演奏です。実は前年度よりこの演目のスタートを目標に太鼓部では、例年になく月に2回程度のべんの練習を行っておりました。これまで私は失敗を恐れた演奏をしてきましたが、その前年のクリスマス家族会での演奏を観た妻より「自信なさそうに叩いていた」と指摘された事をきっかけにその年の練習には目一杯参加するよう心掛けました。また演奏中に失敗をしてもいつでも他の先輩方がしっかりサポートし続けて頂けたお陰もあり、当日は思い切って演奏をする事ができました。演奏後に皆様から今日良かったよ、「上手になったね」と言われ、胸を撫で下ろした事が大変記憶に残っております。

現在はコロナ禍の現況下であり、練習も含め和太鼓の演奏の機会がなくなっておりますが、再開されたらまた頑張ってお参りたく考えております。

さ、皆様承知の通り、大阪難波RCCの素晴らしいのは、歴史もあり、先輩層から若手世代に至るまで幅広い年代層がしっかりとコミュニケーションが取れており、親密な関係であるところだと思っておりますが、私自身、仕事上難波で活動する機会も多く、ロータリークラブ以外の場でもメンバーの皆様にお世話になる事が多々ございます。そんな折にもクラブの縁から、皆様には以前より何かと気にかけて頂け、より一層色々な事を吸収させて頂ける様な気が致します。メンバーの皆様のおかげさや情報、私自身が物事を進める上で大変参考になっており、大変感謝しております。

加えて、大阪難波RCCの会員で居られる事は、私だけでなく家族にとっても有難く、妻も私同様、会員皆様の奥様より姉妹の様に可愛がって頂いております。また息子からは僕、ロータリー大好きやから、絶対辞めんとてな〜、〜といつも言われております。クラブ内には彼と同世代のお子様も多く、息子としては行事に参加させて頂ける事が楽しみで、ロータリークラブが素敵な居場所になって頂けたらと思います。

実は私の場合、職業柄週末も仕事が入ることが多く、今までは十分な家族サービスが出来ず、ついつい妻任せになっておりました。ところが大阪難波RCCの友好行事のお陰で、妻息子共に新しく同じコミュニティを持つことができ、家族との接点が増えたとともに私にとっては大変喜ばしい事でございます。またクラブを通して、皆様と家族ぐるみでお付き合いが出来たことは、自身の家族孝行が出来ただけでなく、家族が成長する上でも非常に有意義で有難い事に繋がっていると感謝しております。

これからの予定

3月25日(木)～4月30日(金) 献血週間
4月29日(木・祝) 休会
5月1日(土) 春のRYLAオンラインセミナー
5月6日(木) 例会中止
5月13日(木) 例会・新旧合同理事会
5月20日(木) 例会・新旧合同クラブ協議会

WEEKLY BULLETIN

OSAKA NAMBA

大阪難波ロータリークラブ週報



ロータリーは機会の扉を開く

(国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク)
2020-2021年度 国際ロータリーのテーマ
「ロータリーは機会の扉を開く」
(第2660地区ガバナー 簡 仁一)

今日の卓話	次回の卓話	ロータリー4つのテスト
4月22日(木) 休会の為、ありません	5月6日(木) 休会の為、ありません	言行はこれに照らしてから 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

♪ 四つのテスト

真実かどうか
みんなに公平か
好意と友情を深めるか
みんなのためになるかどうか

4月22日(木)は例会の予定でしたが
大阪市にまん延防止等重点措置が
適用されたため
本日は休会といたします。

ニコニコ箱報告	
前回の合計	¥0 (休会)
本日までの累計	¥2,056,500 (61%達成)
4月末の予算額	¥3,330,000

出席報告		
前回 4月15日(休会)	3週前 3月25日	
会員総数	60名	出席免除を除く MUを含む 修正出席率 66.66%
出席会員数	名	
出席率	%	

大阪難波ロータリークラブ
創立 1976年8月5日
例会日時 毎週木曜日 12:30
例会場 スイスホテル南海大阪7階 芙蓉の間
会長：川口栄計 幹事：福田 忠 会報・雑誌委員長：三島敏宏 事務局：安部亜希子
事務局 〒542-0076 大阪市中央区難波5-1-60 スイスホテル南海大阪5階
TEL 06-6632-3956 FAX 06-6632-3957 e-mail osaka-namba@poem.ocn.ne.jp

4月は「母子の健康月間」です

★来客紹介：ありません。

★会長報告：川口会長

1. 大阪難波ロータリークラブの会員の皆様、こんにちは。4月15日休会分の臨時報での会長報告を行います。現在、4月20日ですが、いよいよ大阪府に於いて緊急事態宣言が発出される見込みとなっております。福田幹事と相談いたしました。スイスホテルのキャンセル料金の発生を抑えるため、現時点に於いて例会の再開は連休明けの5月6日を諦め、早くても5月13日となりました。皆様にご連絡申し上げます。
2. またロータアクトクラブの認証状が4月11日付にて当クラブに送付されました。この臨時報に掲載いたしております。どうぞご覧ください。ただ5月9日に予定しておりましたキックオフミーティングをどのような形なら開催できるかを本日4月20日夕刻に福田幹事、西原地区ロータアクト委員、林RAC設立準備委員長、中川広報委員長と討議し、決定する予定であります。結果は来週の臨時報にてお知らせしたいと思います。
3. 先週、16日にIM4組の定例会長会議を行いました。IM4組ロータリデーの中止に伴う代替奉仕事業「希望の扉プロジェクト」の案を当クラブとして以前から計画しておりました難波周辺地区への子ども施設(幼稚園、保育所等)や障害児童施設への消毒液等の配布をこのプロジェクトに充てるとし、IM4組に報告いたしました。他に大阪南RCが障害者施設で作る授産品の制作場所の提供や買取りを含む販売支援を行われる報告がありました。IM4組からは大阪南RCと当大阪難波RCの2クラブでした。
4. さて本日の「ロータリアンの足跡」は、先々週に続き「アメリカ合衆国大統領になったロータリアン」として4ページに渡り書かせていただきました。アイゼンハワー、J・F・ケネディー、フォード、カーター、レーガン、ブッシュ親子と続きますが、記憶に新しい大統領も出てまいります。興味のある方はじっくりとお読みください。これにて本日の会長報告を終わります。皆様、お体にお気を付けください

★幹事報告：福田幹事

新型コロナウイルス感染拡大が進んでおります中、状況は大変流動的ではありますが、現時点におきましては、

1. 5月13日例会終了後、新旧合同理事会を開催させて頂きまして、今年度と次年度の理事役員の方はご出席ください。

2. 5月20日例会終了後、IM第4組 吉崎ガバナー補佐、大谷ガバナー補佐エレクトをお迎えし、新旧合同クラブ協議会を開催する予定でございます。当日ご都合の悪い委員長は代理の方の出席をお願い致します。

尚、今後の政府や自治体の方針により延期になる場合もございます。皆様にはご迷惑をお掛け致しますが、何卒ご理解のうえ、ご容赦賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



大阪難波ロータアクトクラブが国際ロータリーより認証されました。コロナ禍の中ですが、可能な奉仕事業を考え活動して行きたいと思っております。

★委員会報告

◇クラブ会報雑誌委員会：三島委員長

「日本のロータリー100周年の紹介」

日本のロータリー誕生100周年に伴い幕開けと戦中戦後、日本での国際大会の歴史概略を紹介いたします。日本初のロータリークラブの設立は、二人の日本人ビジネスマン、福島喜三次氏と米山梅吉氏のアメリカでの出会いがきっかけでした。この出会いから数年後の1921年4月1日、日本で第一号となる東京ロータリークラブが加盟認証されることとなります。

日本へのロータリー拡大
テキサス州ダラスにある日系企業の支店長だった福島喜三次は、ダラス・ロータリークラブの会員でした。一方、三井銀行の常務取締役だった米山梅吉は、1917～1918年、日本政府派遣の財政経済委員の一員として何度か渡米。その時に福島宅で一時を過ごし、福島からロータリーを紹介されました。1920年代初め、日本に帰国した福島、そして米山は、他22名の創立会員とともに東京ロータリークラブを設立し、福島がクラブの初代幹事、米山が初代会長となりました。日本で二番目となる大阪ロータリークラブは、大阪に赴任した福島の働きかけで、1923年

に加盟認証されました。さらに、日本で特別コミッショナーの任を受けていた米山の努力もあり、1925年には名古屋、神戸、京都の三つのクラブが加盟認証されました。第二次大戦による脱退と戦後の復帰1940年、当時の政情により国内48クラブがもはや組織的に活動できなくなったことが、日本のロータリー指導者から国際ロータリー世界本部(米国)に伝えられました。このため理事会は、やむなく日本のクラブを脱退とし、地区を解散しました。しかし、ロータリーの精神は日本で強く生き続けました。第二次世界大戦中、多くの元ロータリアンが「○曜会」という名で例会を続けました(東京では「水曜会」、大阪では「金曜会」)。1948年、日本でのロータリークラブの復帰の可能性を探るため、RI事務総長補佐ジョージ・ミーンズが来日。その際、「水曜会」の事務局に『The Rotarian』誌や他のロータリーの冊子が山積みになっているのを目にしました。また、クラブ会員たちはロータリー歌を歌い、旧東京ロータリークラブが使っていたのと著しく似た名札を着けていました。シカゴに戻ったミーンズは、その結果を1949年1月に理事会に報告。これを受けて、理事会はできるだけ早く日本のロータリークラブを復帰させることを決定しました。3月29日にミーンズが再来日し、東京ロータリークラブに新たな加盟認証状を伝達。京都、大阪、名古屋、神戸のロータリークラブも、4月末までに復帰しました。

日本で開催された国際大会
1961年東京大会(5月28日～6月1日)
アジア初のロータリー国際大会(出席者数23,366名)。天皇陛下が開会の辞を述べ、国際理解におけるロータリーの貢献を称えました。
1978年東京大会(5月14～18日)
日本で二回目の国際大会(出席者数39,834名)。新しい「保健、飢餓追放、人間性尊重(3-H)補助金」プログラムの創設を発表。この補助金は、安全な水や医療へのア

クセス改善、識字率向上といった活動に活用され、現在のグローバル補助金への道を開きました。
2004年大阪大会(5月23～26日)
有料出席者数で過去最多数を記録(出席者数45,381名)。元ロータリー奨学生で国連難民高等弁務官だった緒方貞子氏が、奨学生当時の経験や、紛争の原因を理解する上でその経験が与えた影響について講演しました。



ジョージ・ミーンズから加盟認証状を手渡される東京ロータリークラブの小林雅一会長(1949年4月)



1921年にシカゴを訪れた際にロータリー事務総長チェスリー・ペリーと握手する米山梅吉。米山は東京ロータリークラブの初代(1921-22年度)会長を務め、1926-27年度に国際ロータリー理事を務めた。

★ニコニコ箱報告：ありません。

★卓話：ありません。

4月 入会記念日 おめでとうございます

4月 4日	中井政嗣会員	平成31年	4月 5日	岡西豊博会員	平成19年
4月 5日	立花英司会員	平成24年	4月 5日	松浦孝尚会員	平成24年
4月 5日	中川静夫会員	平成24年	4月 5日	滋野雅之会員	平成24年
4月20日	荻原 奨会員	平成12年	4月30日	伊藤 仁会員	平成21年